

国土交通委員会

委員一覧 (25名)

委員長	田名部 匡代 (立憲)	清水 真人 (自民)	里見 隆治 (公明)
理事	酒井 庸行 (自民)	末松 信介 (自民)	宮崎 勝 (公明)
理事	長浜 博行 (立憲)	鶴保 庸介 (自民)	室井 邦彦 (維新)
理事	伊藤 孝江 (公明)	豊田 俊郎 (自民)	武田 良介 (共産)
理事	浜口 誠 (民主)	中西 哲 (自民)	木村 英子 (れ新)
	足立 敏之 (自民)	和田 政宗 (自民)	上田 清司 (無)
	青木 一彦 (自民)	小沢 雅仁 (立憲)	増子 輝彦 (無)
	岩本 剛人 (自民)	野田 国義 (立憲)	
	金子 原二郎 (自民)	森屋 隆 (立憲)	(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第202回国会において、本委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

第201回国会閉会後の7月30日、令和2年7月豪雨による被害状況等及びG o T o トラベル事業について、赤羽国土交通大臣から報告を聴取した後、質疑を行い、安全・安心な観光様式の定着に向けた同事業の意義、近年の水害・土砂災害と地球温暖化に伴う気候変動との関係性、球磨川流域における降雨量の過去との比較及び浸水被害状況、川辺川ダムを含めた球磨川の抜本的な治水対策の必要性、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえたG o T o トラベル事業に対する参考人の見解、感染状況に応じた同事業の再考の必要性、同事業の開始日・適用除外等の決定に係る決裁の在り方、同事業における運營業務の委託先選定過程の透明化の必要性、同事業に係る参加登録事業者の感染症対策の確認の在り方、同事業にて地元の宿泊旅行を後押しする必要性、観

光産業に対する中長期的な支援策を講ずる必要性、線状降水帯の発生予測精度の向上に向けた取組、流域治水プロジェクト策定の意義及び取組方針、被災地などに配慮したG o T o トラベル事業の運用、同事業における宿泊施設等の新型コロナウイルス感染防止対策、令和2年7月豪雨による被害を踏まえた今後の内水氾濫対策、建設工事従事者に対する新型コロナウイルス感染症対策、G o T o トラベル事業の開始決定時期の判断理由・基準、防災計画の策定時及び避難訓練の実施時における障害者等の参画の促進、障害者等の利用に資するマンホールトイレの普及の必要性、治水事業に係る国土交通大臣の認識、ハードによらない治水対策の取組などの諸問題が取り上げられた。

第201回国会閉会後の8月31日、令和2年7月豪雨による社会資本の被害状況等の実情調査のため、福岡県、大分県及び熊本県に委員派遣を行った。

9月18日、前記委員派遣について、派遣委員から報告を聴取した。

(2) 委員会経過

○令和2年7月30日(木) (第201回国会閉会後第1回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・令和2年7月豪雨による被害状況等及びG o T oトラベル事業に関する件について赤羽国土交通大臣から報告を聴いた後、令和2年7月豪雨による被害状況等に関する件、G o T oトラベル事業に関する件、建設業における新型コロナウイルス感染症対策に関する件、マンホールトイレの普及に関する件等について赤羽国土交通大臣、宮下内閣府副大臣、今井内閣府大臣政務官、政府参考人及び参考人独立行政法人地域医療機能推進機構理事長尾身茂君に対し質疑を行った。

[質疑者]

足立敏之君(自民)、増子輝彦君(※)、野田国義君(※)、浜口誠君(※)、里見隆治君(公明)、室井邦彦君(維新)、武田良介君(共産)、木村英子君(れ新)、上田清司君(無)

田名部匡代君(※)、朝日健太郎君(自民)、酒井庸行君(自民)、増子輝彦君(※)、伊藤孝江君(公明)、武田良介君(共産)、柳ヶ瀬裕文君(維新)

※ 立憲・国民、新緑風会・社民

○令和2年9月18日(金) (第1回)

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- ・国土の整備、交通政策の推進等に関する調査を行うことを決定した。
- ・派遣委員から報告を聴いた。
- ・国土の整備、交通政策の推進等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- ・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○令和2年8月31日(月)

- ・令和2年7月豪雨による社会資本の被害状況等の実情調査

[派遣地]

福岡県、大分県、熊本県

[派遣委員]